

平成18年7月鹿児島県北部豪雨災害 町議会のこれまでの主な対応

豪雨災害特別号（8月17日発行）以降を掲載



② 9月4日～5日 九州地方整備局、国土交通省、財務省、内閣府等へ激甚・激特指定等を要望



① 8月22日 災害から1か月経ち、復旧状況等の現地調査を実施し、今後の対応を協議



④ 9月12日 鶴田ダム管理所へ鶴田ダムの防災特化を要望



③ 9月12日 川内川河川事務所へ河川改修を要望



⑥ 9月29日 虎居地区被災者の会との懇談会



⑤ 9月15日 電源開発(株)南九州発電所（人吉市）へ洪水時の対策を要望

編集後記

豪雨災害から3か月が過ぎ、徐々に復旧が進んできております。
また、念願でありました「激甚・激特」も決まり、今後、水害のない町づくりは最重要な課題であります。
今年の実りの秋は、長雨や日照りのため、農作物の収穫も少なく、試験の年となりました。
また、町主催や地域のイベントも一部中止となりましたが、「元氣のあるさつま町」の復興に向けて議会も努めてまいります。

（市来 修委員）

議会広報特別委員会

議長	濱田 等
委員長	柏木 幸平
副委員長	新改 秀作
委員	木下 敬子
委員	市来 修
委員	宮之脇 金次郎
委員	平八重 光輝